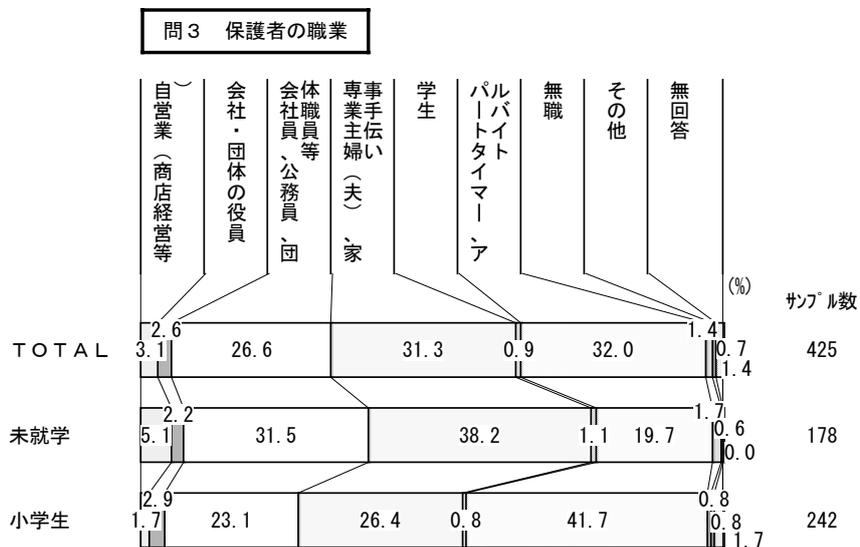


(3) 保護者の職業 (問3)

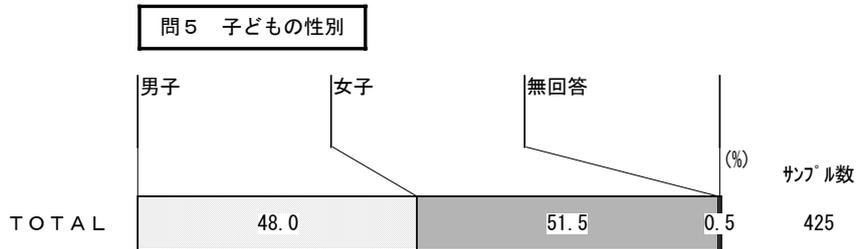
「パートタイマー、アルバイト」が32.0%で最も多い。次いで「専業主婦(夫)、家事手伝い」が31.3%、「会社員、公務員、団体職員等」が26.6%である。
 小学生の保護者は、「パートタイマー、アルバイト」が41.7%と高い。



2 子どもの基本属性

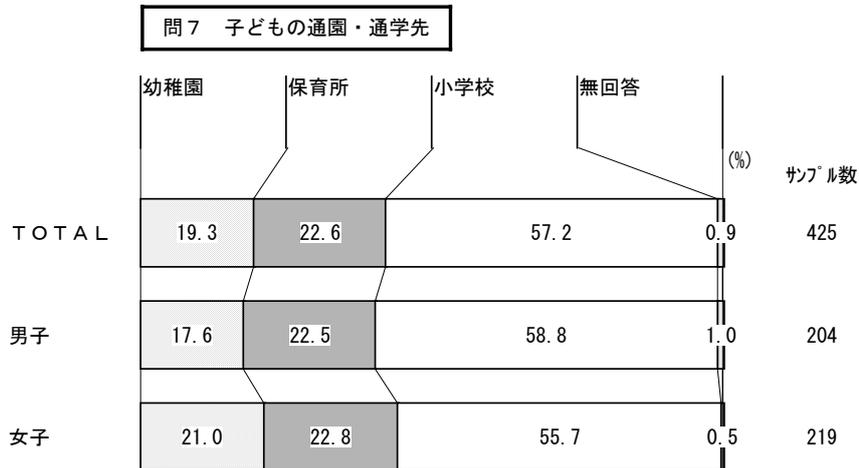
(1) 子どもの性別 (問5)

回答者の子どもの内訳は、「男子」が48.0%、「女子」が51.5%である。



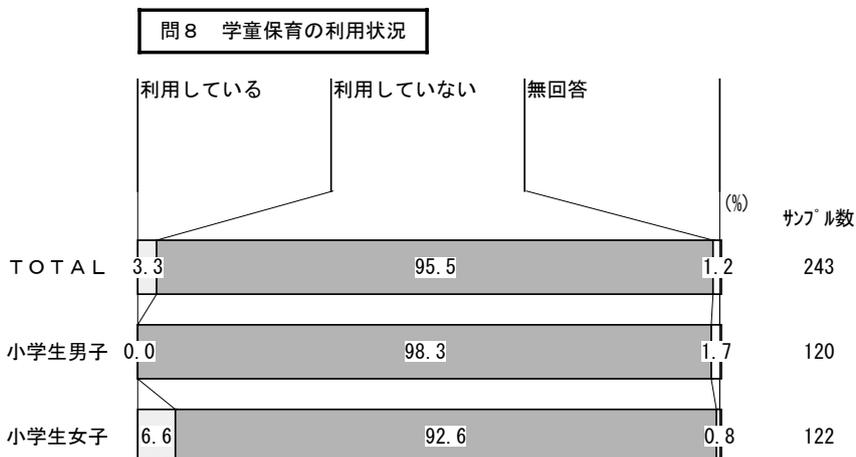
(2) 子どもの通園・通学先 (問7)

通園・通学先は、「幼稚園」が19.3%、「保育所」が22.6%、「小学校」が57.2%である。



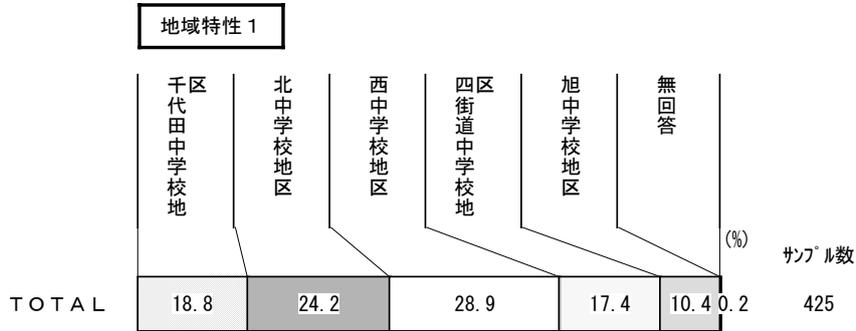
(3) 学童保育の利用状況 (問8)

問7で「小学校」と回答した人に対し、学童保育の利用状況をたずねた。学童保育を「利用している」は3.3%で、「利用していない」が95.5%を占めた。



(4) 居住地域 (問9)

居住地域を中学校区で見ると、「千代田中学校地区」が 18.8%、「北中学校地区」が 24.2%、「西中学校地区」が 28.9%、「四街道中学校地区」が 17.4%、「旭中学校地区」が 10.4%である。

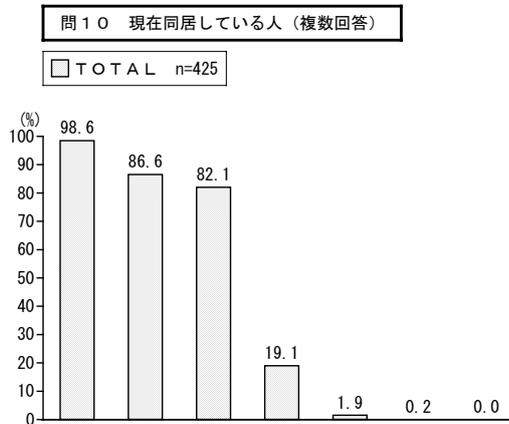


千代田中学校地区	亀崎、物井、長岡、内黒田、千代田、池花
北中学校地区	栗山、萱橋、大日(緑ヶ丘・桜ヶ丘以外)、鹿渡、つくし座、さちが丘
西中学校地区	下志津新田、四街道、大日(緑ヶ丘・桜ヶ丘)、鹿放ヶ丘、さつきヶ丘
四街道中学校地区	和良比、みのり町、美しが丘、めいわ
旭中学校地区	山梨、吉岡、小名木、成山・中台・中野、南波佐間・上野・和田、旭が丘、みそら、鷹の台

※中学校区については、便宜上地域名で区分しており、実際の中学校区とは異なる場合がある。

(5) 現在同居している人 (問10)

現在同居している人は、「母」が 98.6%、「父」が 86.6%、「兄弟姉妹」が 82.1%、である。「祖父、祖母」と同居している人は少なく、19.1%となっている。

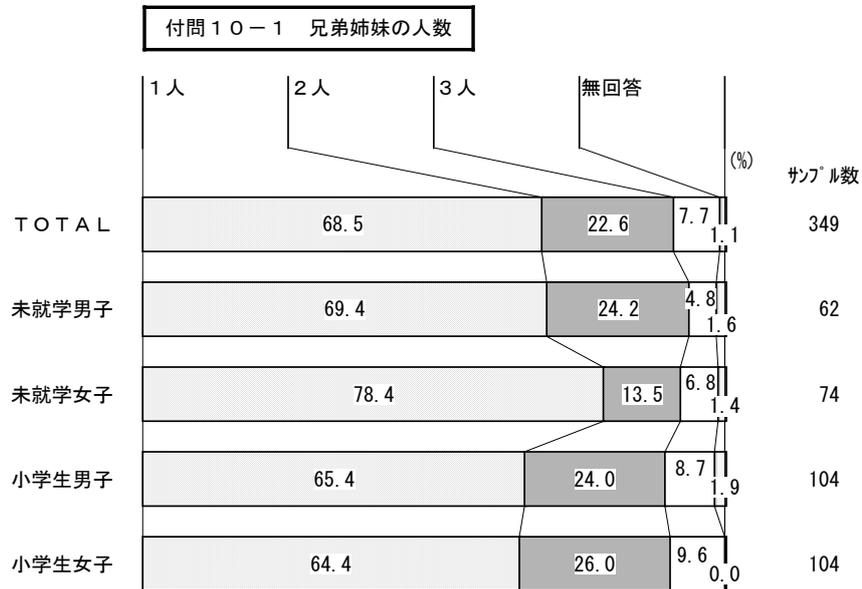


子どもの通園、通学先・性別	n	2	1	3	4	5	6	7
		母	父	兄弟姉妹	祖父・祖母	その他の親戚	その他	無回答
0 TOTAL	425	98.6	86.6	82.1	19.1	1.9	0.2	0.0
1 未就学男子	82	98.8	84.1	75.6	17.1	2.4	0.0	0.0
2 未就学女子	96	99.0	84.4	77.1	19.8	1.0	0.0	0.0
3 小学生男子	120	97.5	90.0	86.7	19.2	3.3	0.8	0.0
4 小学生女子	122	100.0	86.9	85.2	19.7	0.8	0.0	0.0

(6) 兄弟姉妹の人数 (付問 10-1)

問 10 で「兄弟姉妹」と回答した人に兄弟姉妹の人数をたずねたところ、「1人」が 68.5%と最も多く、「2人」が 22.6%、「3人」が 7.7%である。

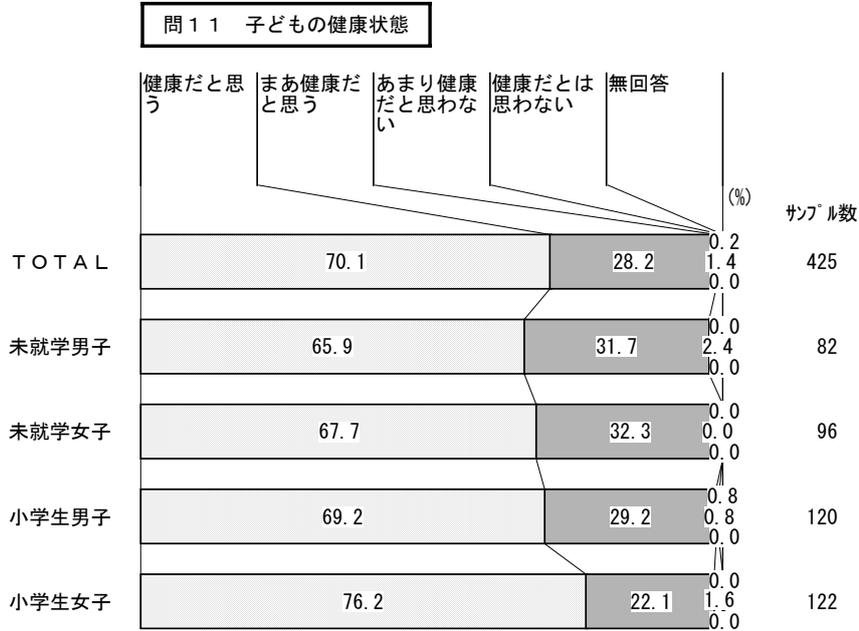
未就学女子では兄弟が「1人」が他よりもやや多く、78.4%である。



3 健康状態・健康について

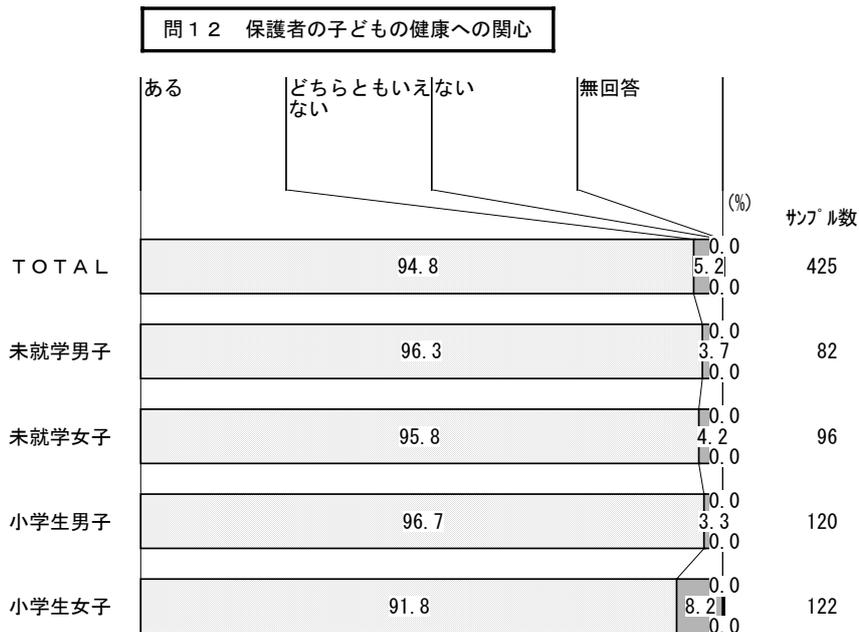
(1) 子どもの健康状態 (問 11)

「健康だと思う」が70.1%、「まあ健康だと思う」が28.2%である。「あまり健康だと思わない」は1.4%、「健康だとは思わない」は0.2%にとどまる。
未就学児より、小学生のほうが「健康だと思う」が高い傾向にある。



(2) 子どもの健康への関心 (問 12)

子どもの健康への関心について「ある」が94.8%、「どちらともいえない」が5.2%、「ない」は0.0%である。
小学生女子では「どちらともいえない」がやや多く、8.2%である。



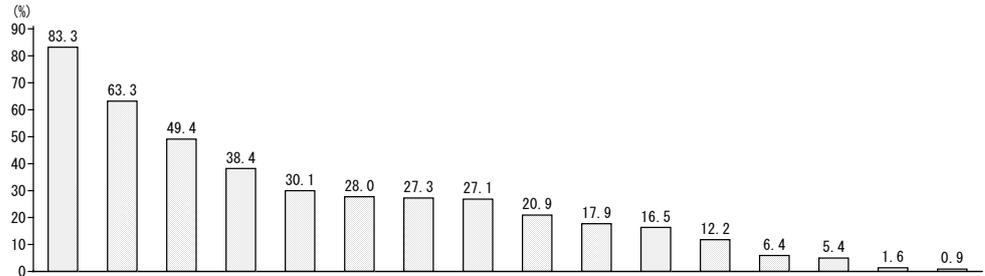
(3) 「健康とはなにか」の問いに対しての保護者の考え (問4)

「心身ともに健やかなこと」が83.3%で最も多い。以下、「身体が丈夫で元気がよく調子がよいこと」(63.3%)、「病気でないこと」(49.4%)、「快食・快眠・快便」(38.4%)、「幸福なこと」(30.1%)となっている。

子どもの就学状況による差はない。

問4 「健康とはなにか」という問いに対しての保護者の考え (複数回答)

□ TOTAL n=425



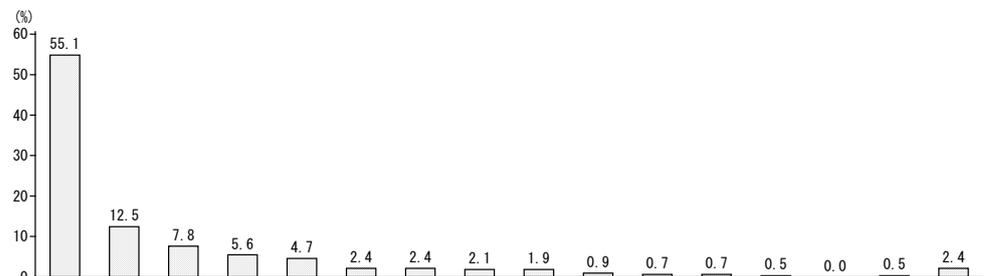
就学状況	n	2	9	6	7	1	10	13	11	8	3	12	14	4	5	15	16
		心身ともに健やかなこと	身体が丈夫で元気がよく調子がよいこと	病気でないこと	快食・快眠・快便	幸福なこと	心も身体も人間関係もうまくいっていること	前向きに生きられること	規則正しい生活ができること	家庭円満であること	仕事ができること	自分自身の身の回りのことができて、長生きできること	人を愛することができること	生きがいのもと	健康を意識しないこと	その他	無回答
0 TOTAL	425	83.3	63.3	49.4	38.4	30.1	28.0	27.3	27.1	20.9	17.9	16.5	12.2	6.4	5.4	1.6	0.9
1 未就学	178	84.3	64.6	48.9	39.9	31.5	29.8	21.9	28.1	23.0	15.7	20.8	13.5	7.9	5.1	1.1	0.0
2 小学生	242	83.1	62.4	50.0	38.0	29.3	27.3	31.8	26.9	19.8	19.8	13.2	11.6	5.4	5.8	2.1	0.8

(4) 「健康とはなにか」の問いに対して最も保護者の考えに合うもの (付問4-1)

「心身ともに健やかなこと」が55.1%で最も多い。次いで「身体が丈夫で元気がよく調子がよいこと」が12.5%、「幸福なこと」(7.8%)、「心も身体も人間関係もうまくいっていること」(5.6%)となっている。

付問4-1 「健康とはなにか」の問いに対して、最も保護者の考えに合うもの

□ TOTAL n=425

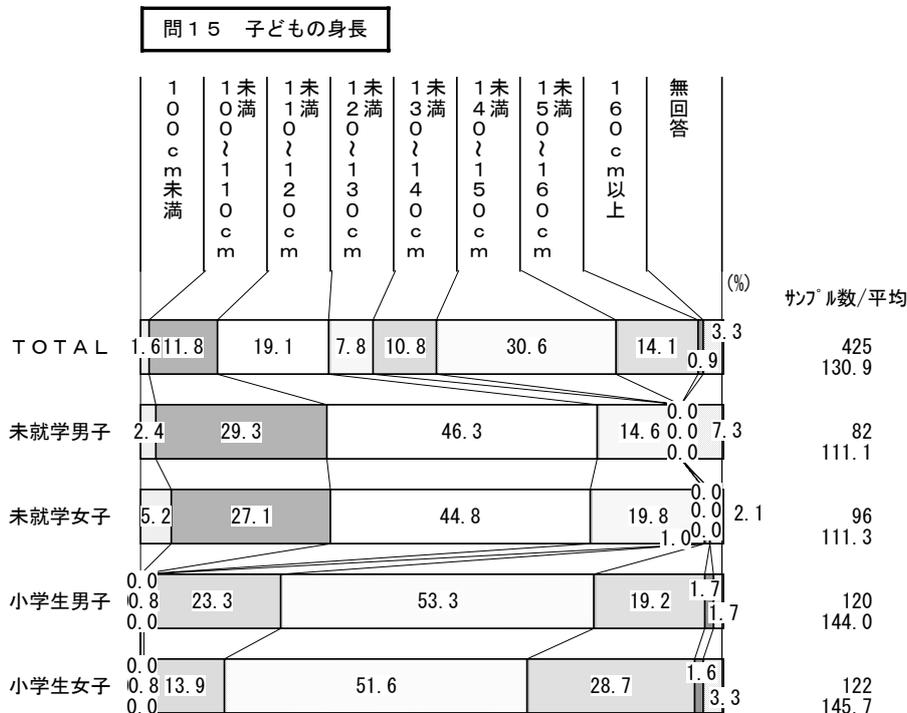


就学状況	n	2	9	1	10	6	8	13	7	11	12	5	14	3	4	15	16
		心身ともに健やかなこと	身体が丈夫で元気がよく調子がよいこと	幸福なこと	心も身体も人間関係もうまくいっていること	病気でないこと	家庭円満であること	前向きに生きられること	快食・快眠・快便	規則正しい生活ができること	自分自身の身の回りのことができて、長生きできること	健康を意識しないこと	人を愛することができること	仕事ができること	生きがいのもと	その他	無回答
0 TOTAL	425	55.1	12.5	7.8	5.6	4.7	2.4	2.4	2.1	1.9	0.9	0.7	0.7	0.5	0.0	0.5	2.4
1 未就学	178	54.5	10.1	7.3	7.9	4.5	3.9	2.2	2.2	1.7	1.1	0.6	1.1	0.6	0.0	0.0	2.2
2 小学生	242	56.2	14.0	8.3	4.1	4.5	1.2	2.5	2.1	2.1	0.8	0.8	0.4	0.4	0.0	0.8	1.7

(5) 子どもの身長 (問 15)

未就学児では男女とも「110cm～120cm 未満」が最も多く、未就学男子は 46.3%、平均 111.1cm である。未就学女子は 44.8% で、平均 111.3cm である。

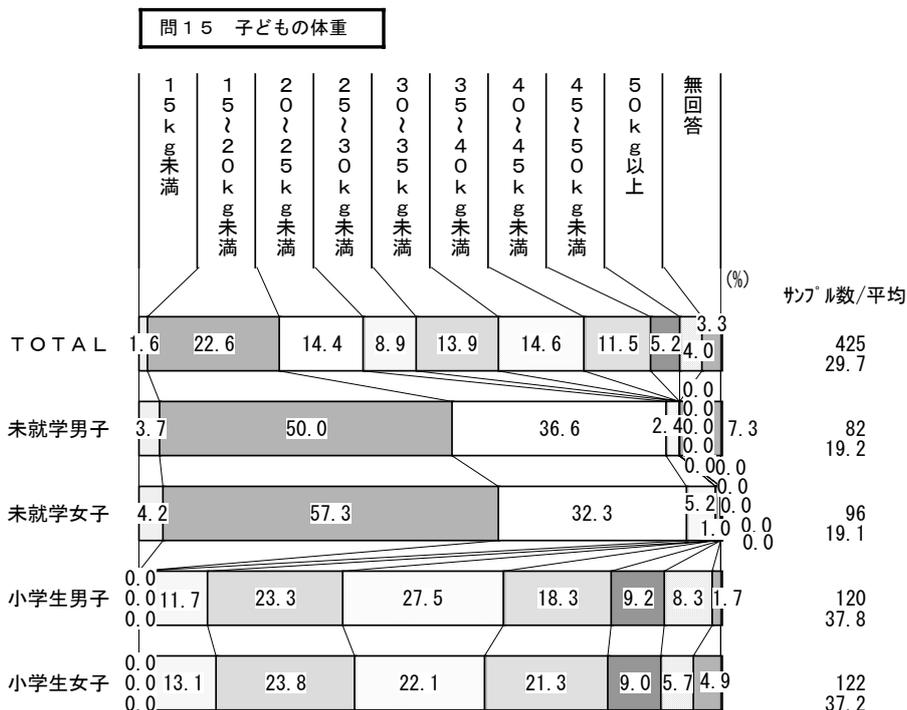
小学生では男女とも「140cm～150cm」が最も多く、小学生男子で 53.3%、平均 144.0cm である。小学生女子では 51.6%、平均 145.7cm である。



(6) 子どもの体重 (問 15)

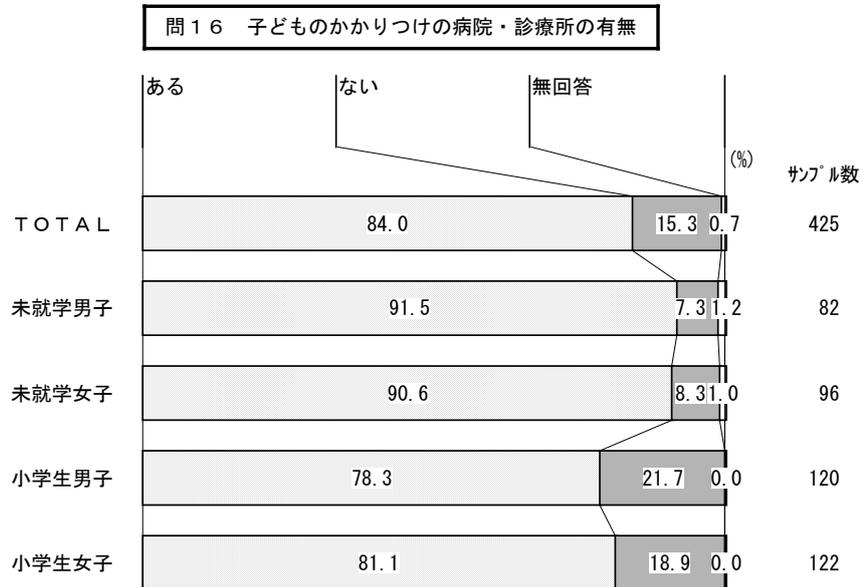
未就学児では男女とも「15～20kg 未満」が最も多く、未就学男子は 50.0%、平均 19.2kg である。未就学女子は 57.3%、平均 19.1kg である。

小学生男子では「35～40kg 未満」が最も多く 27.5%、次いで「30～35kg 未満」が 23.3%、平均 37.8kg である。小学生女子では「30～35kg 未満」が最も多く 23.8%、次いで「35～40kg 未満」が 22.1%、平均 37.2kg である。



(7) 子どものかかりつけの病院・診療所の有無 (問16)

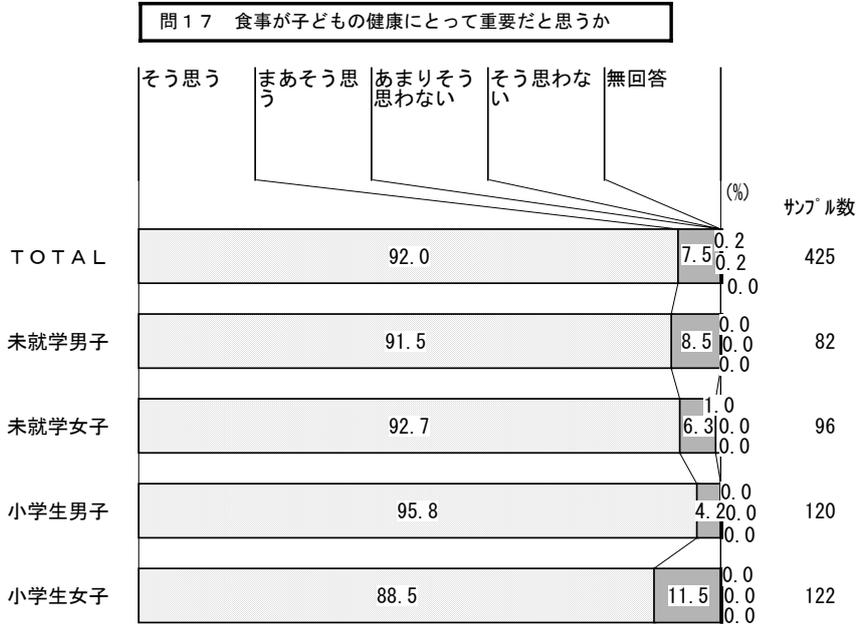
子どものかかりつけの病院・診療所が「ある」が84.0%、「ない」が15.3%である。未就学児では、男女とも「ある」が9割以上であるのに対し、小学生男子では78.3%、小学生女子では81.1%と、年齢が低いほうがかかりつけの病院・診療所があることがうかがえる。



4 食生活・栄養について

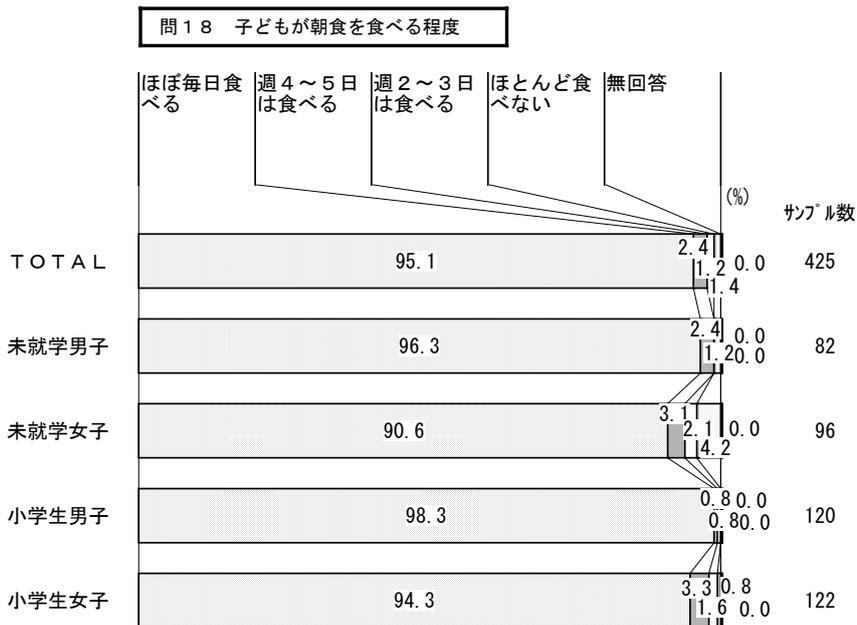
(1) 子どもにとっての食事の重要性の認識 (問 17)

「そう思う」が92.0%、「まあそう思う」が7.5%、「あまりそう思わない」が0.2%、「そう思わない」が0.2%である。
 小学生女子では、「そう思う」がやや低く、88.5%である。



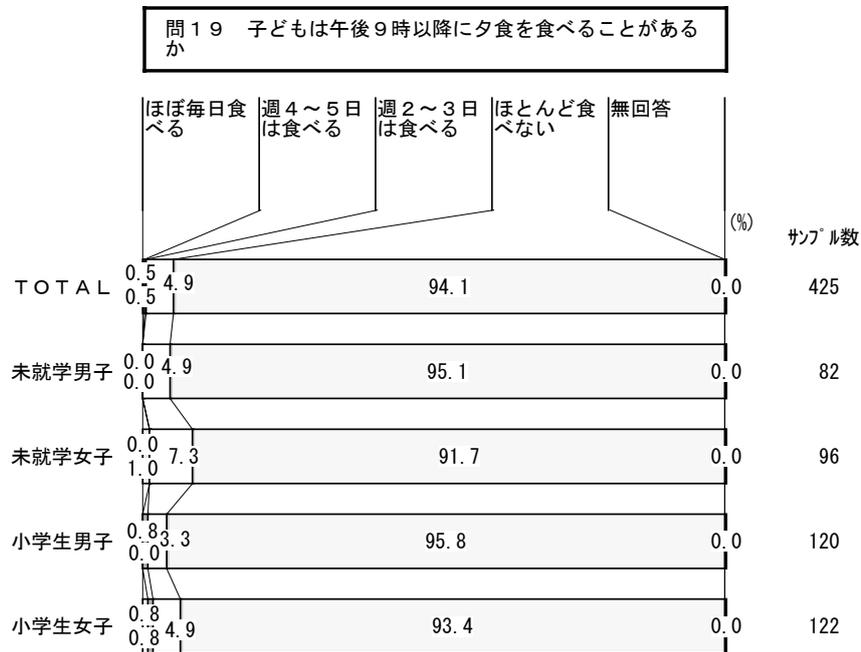
(2) 子どもが朝食を食べる頻度 (問 18)

「ほぼ毎日食べる」が95.1%、「週4～5日は食べる」が2.4%、「週2～3日は食べる」が1.2%、「ほとんど食べない」が1.4%で、5.0%は朝食を食べていない日がある。
 未就学女子では「ほとんど食べない」が4.2%とやや多い。



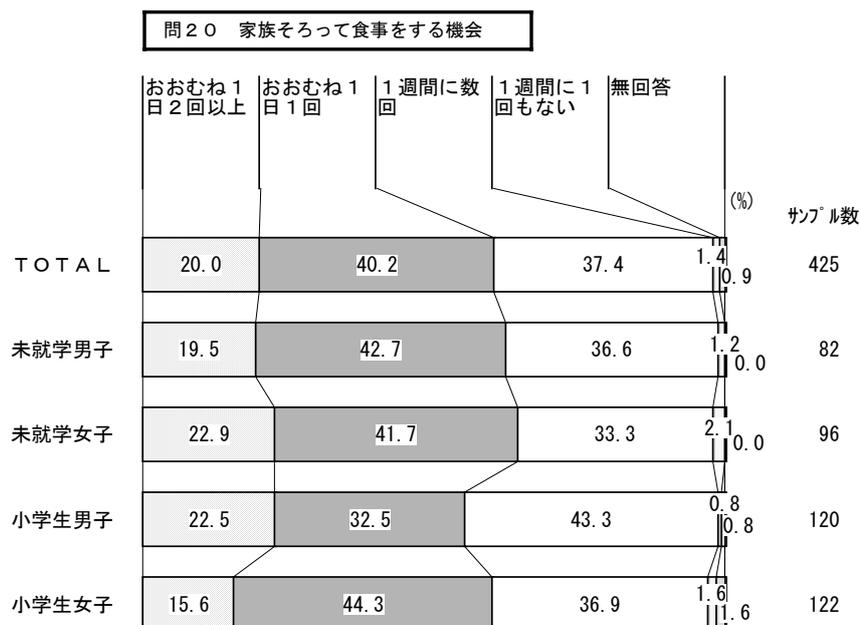
(3) 子どもが午後9時以降に夕食をとる頻度 (問19)

「ほとんど食べない」が94.1%である。次いで「週2～3日は食べる」が4.9%、「週4～5日は食べる」が0.5%、「ほぼ毎日食べる」が0.5%である。
未就学女子では「週2～3日は食べる」が7.3%で若干多い。



(4) 家族そろって食事をする機会の頻度 (問20)

「おおむね1日2回以上」が20.0%、「おおむね1日1回」が40.2%で、約6割が1日1回以上は家族でそろって食事をしている。「1週間に数回」は37.4%、「1週間に1回もない」は1.4%である。



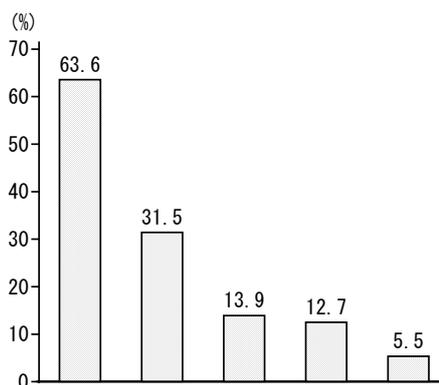
(5) 家族そろって食事をする機会が少ない理由 (付問 20-1)

問 20 で「1 週間に数回」「1 週間に 1 回もない」と回答した人に、家族そろって食事をする機会が少ない理由をたずねたところ、「親の帰宅時間がまちまちである」が 63.6%でもっとも多い。以下、「親の仕事がいそがしい」(31.5%)、「子どもが塾や習い事でいそがしい」(13.9%)となっている。

未就学児では「親の帰宅時間がまちまちである」が 7 割以上で、親の生活時間に影響されることがうかがえる。小学生では、「子どもが塾や習い事で忙しい」が約 2 割である。

付問 20-1 家族そろって食事をする機会が少ない理由 (複数回答)

□ TOTAL n=165



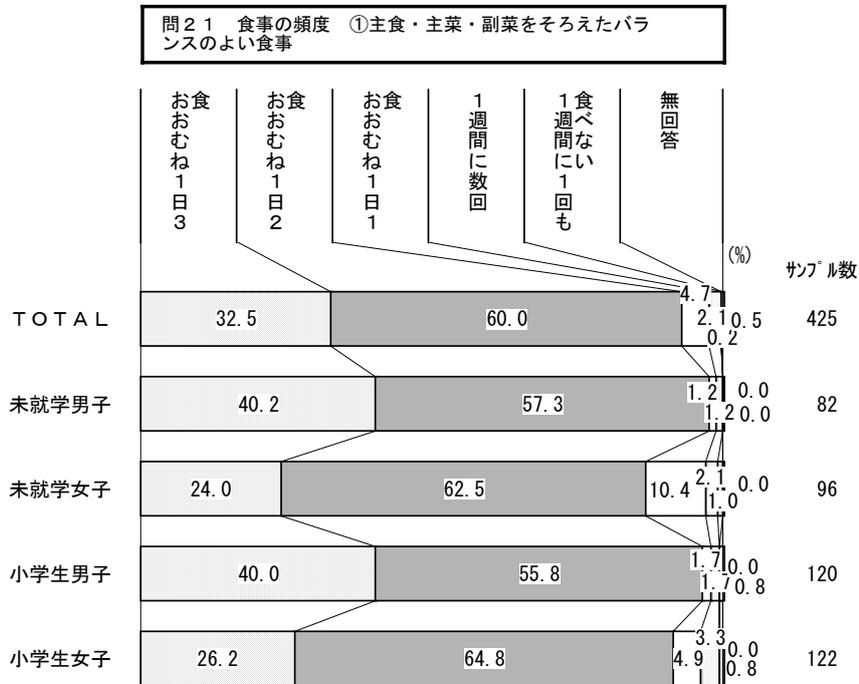
子どもの通園、通学先・性別		n	2	3	1	4	5
			親の帰宅時間がまちまちである	親の仕事がいそがしい	子どもが塾や習い事でいそがしい	その他	無回答
0	TOTAL	165	63.6	31.5	13.9	12.7	5.5
1	未就学男子	31	71.0	19.4	6.5	29.0	3.2
2	未就学女子	34	73.5	44.1	2.9	5.9	0.0
3	小学生男子	53	58.5	34.0	18.9	5.7	7.5
4	小学生女子	47	57.4	27.7	21.3	14.9	8.5

(6) 食事の頻度 (問 21①)

①主食・主菜・副菜をそろえたバランスのよい食事

「おおむね1日2食」が60.0%で最も多い。次いで「おおむね1日3食」が32.5%、「おおむね1日1食」が4.7%である。

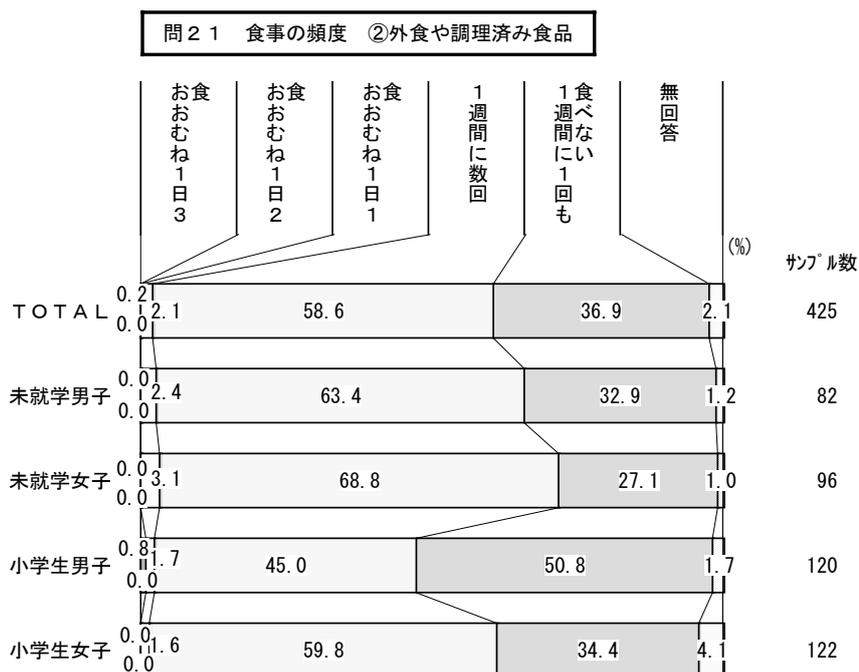
未就学児・小学生ともに女子よりも男子のほうが「おおむね1日3食」食べている割合が高い。



②外食や調理済み食品 (問 21②)

外食や調理済み食品を利用する頻度は「1週間に数回」が最も多く 58.6%である。次いで「1週間に1回も食べない」が36.9%である。

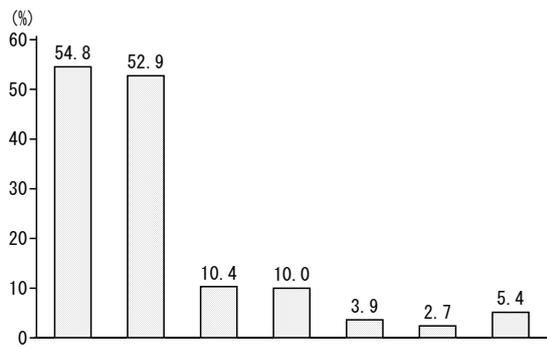
小学生男子では、「1週間に1回も食べない」が50.8%と多い。



(7) 調理済み食品を利用する理由 (問 21②-1)

問 21②で「おおむね1日3食」～「1週間に数回」と回答した人に調理済み食品を利用する理由をたずねたところ、「忙しい、あるいは時間がないので」が54.8%、「手軽なので」が52.9%で、時間がかからないことや手軽さが主な理由であることがうかがえる。

付問 21②-1 調理済み食品を利用する理由 (複数回答)
 □ TOTAL n=259

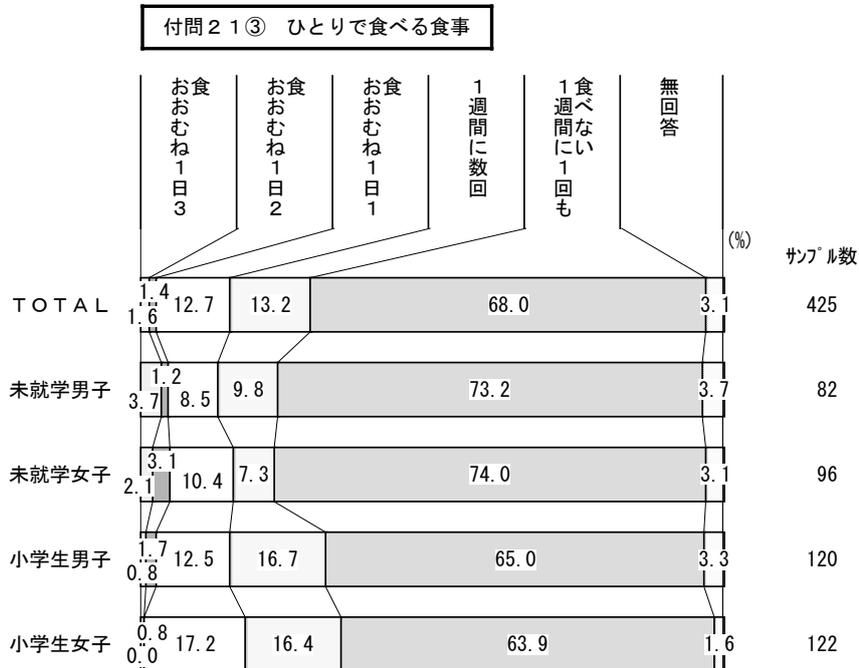


子どもの通園、通学先・性別		n	1	3	2	6	4	5	7
			忙しい、あるいは時間がない	手軽なので	おいしいので	その他	経済的なので	自分で食事を準備していない	無回答
0	TOTAL	259	54.8	52.9	10.4	10.0	3.9	2.7	5.4
1	未就学男子	54	48.1	59.3	16.7	14.8	5.6	7.4	5.6
2	未就学女子	69	59.4	53.6	8.7	7.2	7.2	1.4	4.3
3	小学生男子	57	52.6	40.4	10.5	15.8	1.8	1.8	7.0
4	小学生女子	75	56.0	56.0	8.0	5.3	1.3	1.3	5.3

(8) ひとりで食べる食事 (問 21③)

「1週間に1回も食べない」が68.0%で、7割近くは1週間にひとりで食事をする
ことはない。以下、「1週間に数回」(13.2%)、「おおむね1日1食」(12.7%)となっ
ている。

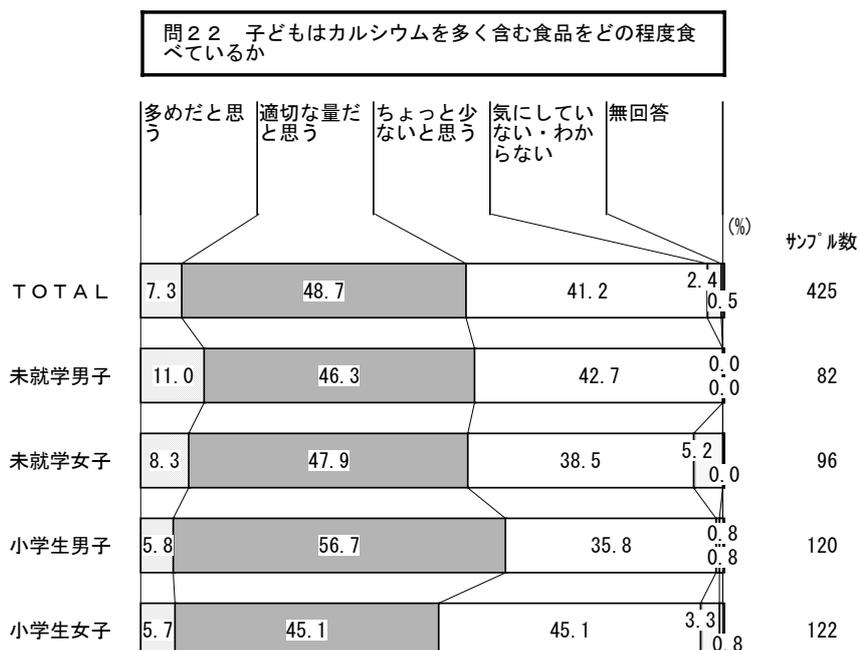
小学生は、未就学児に比べややひとりで食事を食べる割合が高い。



(9) 子どものカルシウムの摂取状況 (問 22)

「ちょっと少ないと思う」は41.2%と、約4割がカルシウム摂取が少ないと感じて
いる。「多めだと思う」は7.3%、「適切な量だと思う」は48.7%である。「気にしてい
ない、わからない」は2.4%である。

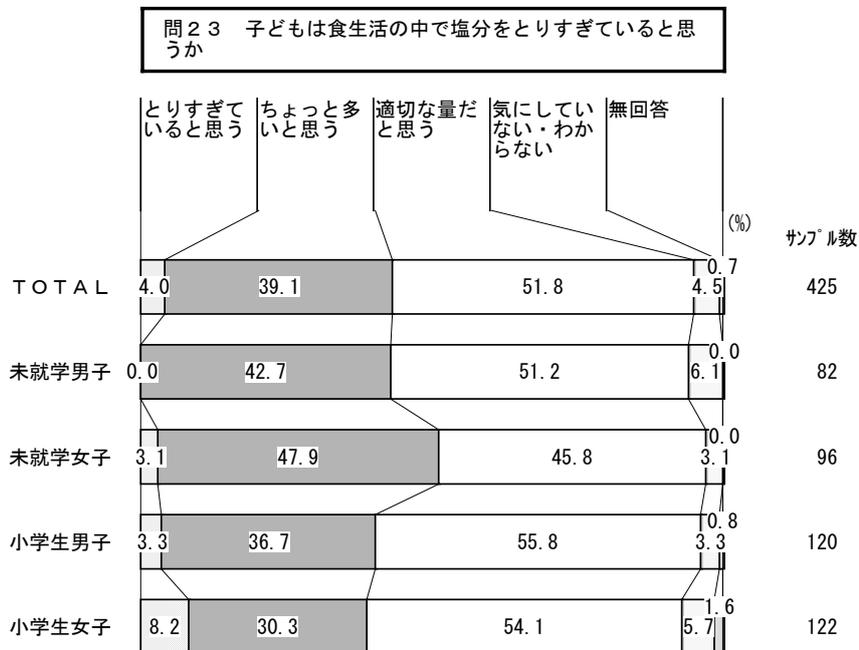
小学生男子では「適切な量だと思う」が56.7%でやや多い。



(10) 子どもの塩分の摂取状況（問 23）

塩分について、「とりすぎていると思う」が4.0%、「ちょっと多いと思う」が39.1%で、合わせて約4割が塩分をとりすぎていると感じている。「適切な量だと思う」は51.8%である。「気にしていない・わからない」は4.5%である。

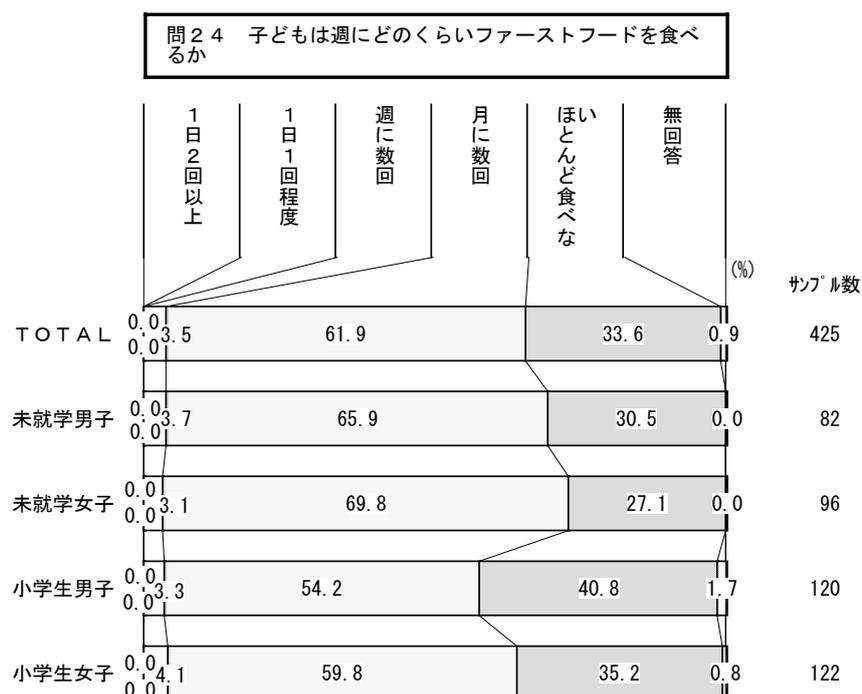
未就学女子では、「とりすぎていると思う」が3.1%、「ちょっと多いと思う」が47.9%で合わせて51.0%とやや多い。



(11) 子どもがファーストフードを食べる頻度（問 24）

「月に数回」が最も多く、61.9%である。次いで「ほとんど食べない」が33.6%である。多くても「週に数回」で3.5%となっている。

未就学児のほうが、ファーストフードを食べる割合がやや高い。

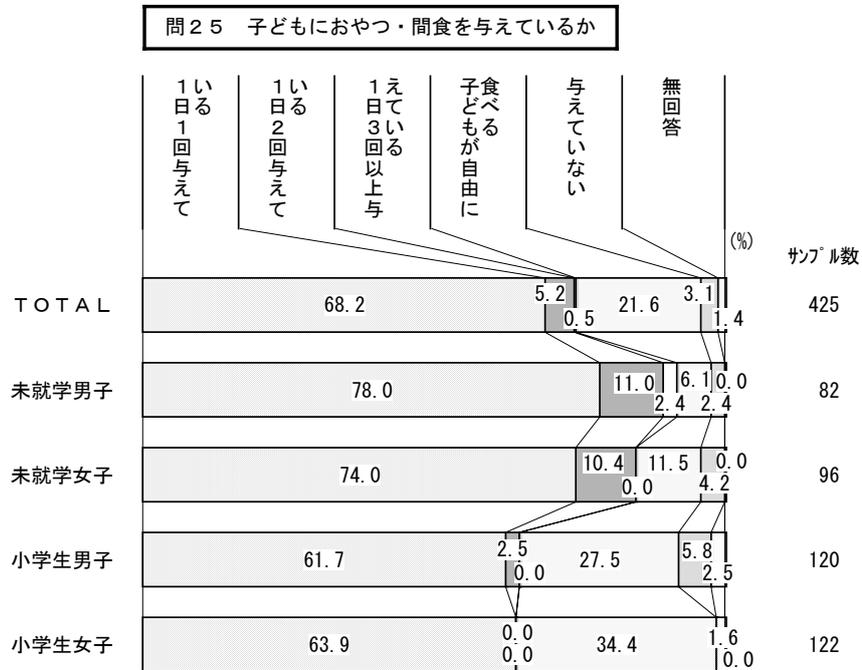


(12) 子どものおやつ・間食の状況 (問 25)

「1日1回与えている」が68.2%で最も多い。次いで「子どもが自由に食べる」が21.6%である。「与えていない」は3.1%である。

未就学児では、男女ともに約1割が「1日2回与えている」と回答している。

小学生男子・女子ともに「子どもが自由に食べる」割合が高く、小学生男子では27.5%、小学生女子では34.4%である。



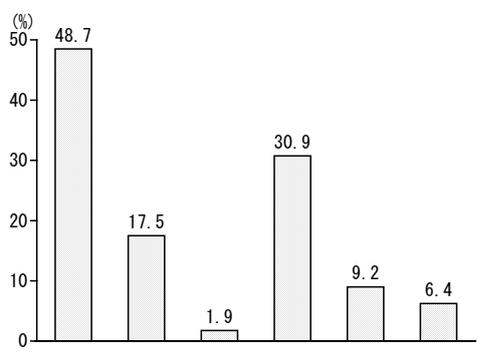
(13) おやつ・間食を与える理由 (付問 25-1)

おやつ・間食を与える理由は、「子どもがほしがるから」が 48.7%、「3回の食事からとる栄養量だけでは不十分だから」が 17.5%、「食事をあまり食べないのでその代わりとして」は 1.9%である。

「その他」30.9%の具体的内容は、「夕食までにお腹が空いてしまうから」が特に多く、その他の内容は「クラブ活動で運動をするから」「塾に通っていて、夕食が遅いから」、「保育所を出してくれる」、「子どもにとって楽しい時間だから」などであった。

未就学児では、「子どもがほしがるから」が男子で 52.0%、女子で 56.8%と小学生より多い。

付問 25-1 おやつ・間食を与える理由 (複数回答)
 □ TOTAL n=314



子どもの通園、通学先・性別		n	3 子どもがほしがるから	1 3回では不十分だからとる栄養量だ	2 食の代わりとして食事をあまり食べないのでそ	4 その他	5 特に理由はない	6 無回答
0	TOTAL	314	48.7	17.5	1.9	30.9	9.2	6.4
1	未就学男子	75	52.0	21.3	1.3	25.3	9.3	10.7
2	未就学女子	81	56.8	19.8	3.7	21.0	7.4	7.4
3	小学生男子	77	41.6	11.7	1.3	44.2	11.7	1.3
4	小学生女子	78	44.9	15.4	1.3	33.3	9.0	6.4

(14) 何に注意しておやつ・間食を与えているか (付問 25-2)

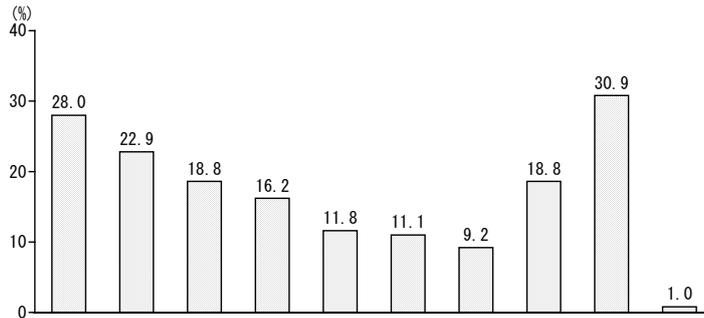
「注意していることは特にない」が30.9%で最も多い。
 具体的な内容では、「脂肪の多いものは避ける」が28.0%、「塩からいものは避ける」が22.9%、「果物を多く与える」18.8%、「栄養のバランスに気をつける」が16.2%である。

「その他」の具体的な内容は、「夕食にひびかない量にする」など、量に関する内容の記載がみられた。

就学状況による傾向はみられない。

付問 25-2 何に注意しておやつ・間食を与えているか (複数回答)

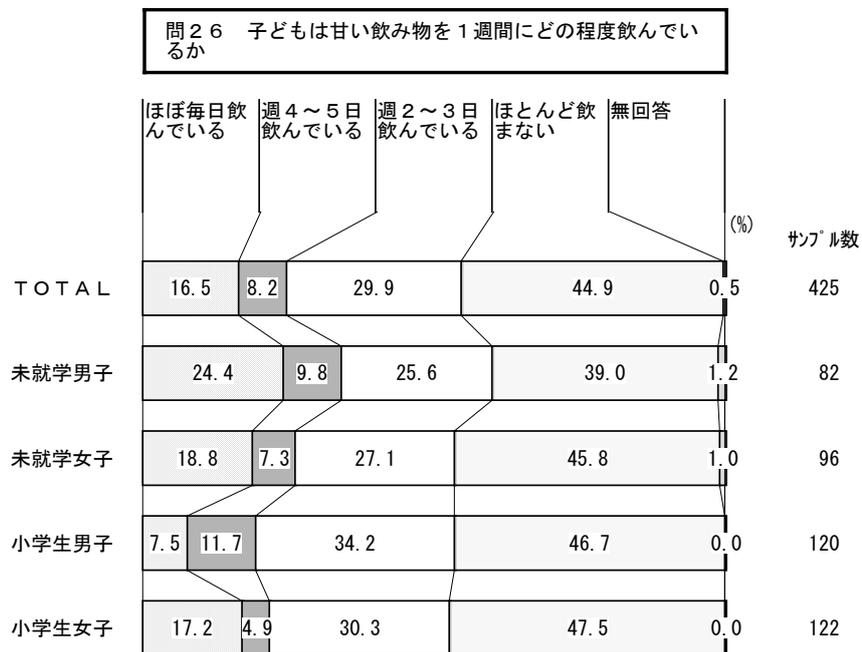
□ TOTAL n=314



子どもの通園、通学先・性別	n	5	4	7	2	6	3	1	8	9	10
		脂肪の多いものは避ける	塩からいものは避ける	果物を多く与える	栄養のバランスに気をつける	カルシウムの多いものを与える	甘いものは避ける	なめるべく手作りのものにして	その他	注意していることは特にない	無回答
0 TOTAL	314	28.0	22.9	18.8	16.2	11.8	11.1	9.2	18.8	30.9	1.0
1 未就学男子	75	29.3	29.3	18.7	13.3	13.3	16.0	8.0	21.3	28.0	2.7
2 未就学女子	81	25.9	25.9	17.3	14.8	13.6	6.2	7.4	16.0	33.3	1.2
3 小学生男子	77	26.0	18.2	18.2	16.9	11.7	10.4	14.3	24.7	28.6	0.0
4 小学生女子	78	30.8	19.2	20.5	19.2	7.7	12.8	7.7	12.8	34.6	0.0

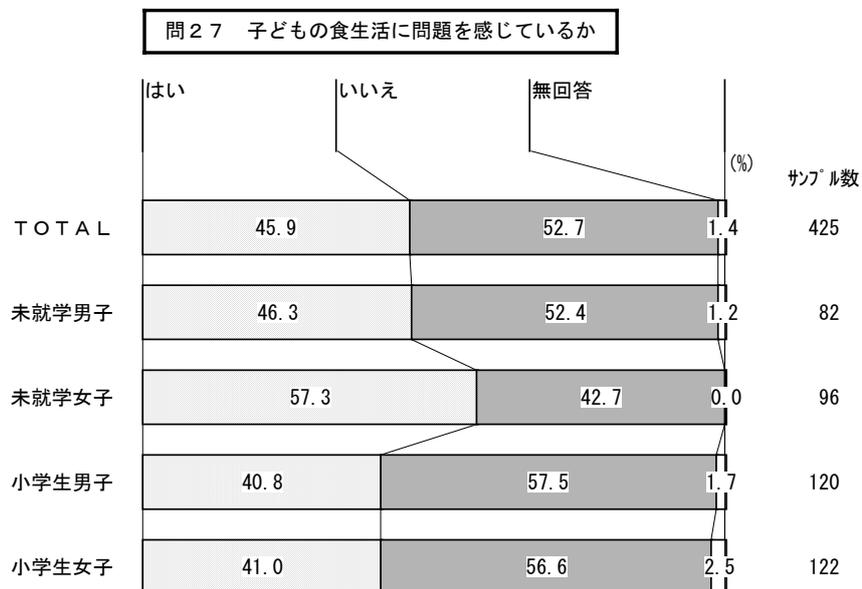
(15) 子どもが甘い飲み物を飲む頻度 (問 26)

「ほとんど飲まない」が 44.9%で最も多い。次いで「週 2～3 日飲んでいる」が 29.9%、「ほぼ毎日飲んでいる」が 16.5%、「週 4～5 日飲んでいる」が 8.2%である。



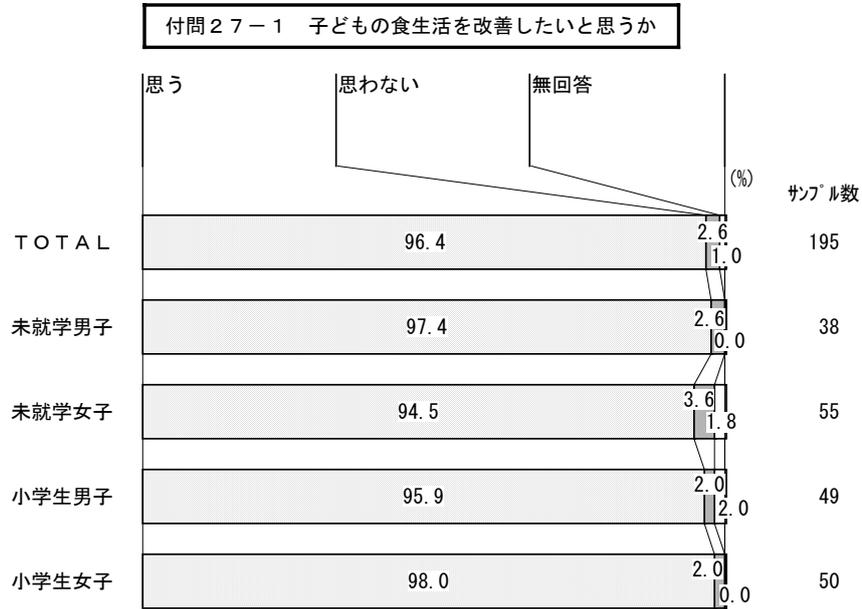
(16) 子どもの食生活についての問題意識 (問 27)

「はい」が 45.9%、「いいえ」が 52.7%で、問題を感じていない人がやや多い。未就学児では「はい」が小学生よりやや多く、男子 46.3%、女子 57.3%である。



(17) 子どもの食生活の改善意向（付問 27-1）

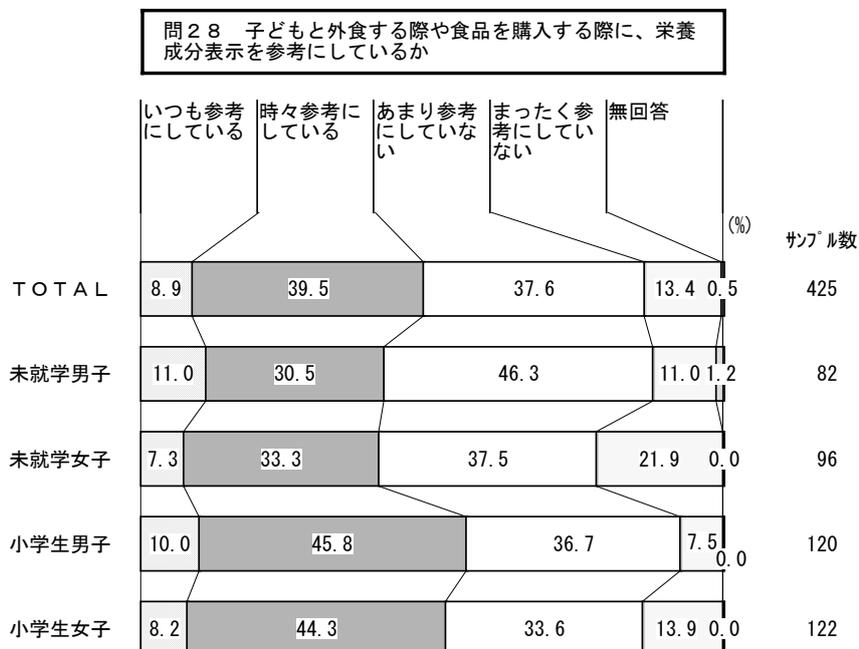
問 27 で「はい」と回答した人に、子どもの食生活を改善したいと思うかたずねたところ、96.4%が「思う」と回答しており、食生活の問題に対して改善意欲を持っている人がほとんどである。「思わない」人が2.6%と少数だが存在している。



(18) 子どもと外食する際や食品を購入する際の、栄養成分表示の参考状況（問28）

「あまり参考にしていない」が37.6%、「まったく参考にしていない」が13.4%で、合わせて51.0%が栄養成分表示をあまり意識していない。「いつも参考をしている」は8.9%にとどまり、「時々参考をしている」が39.5%である。

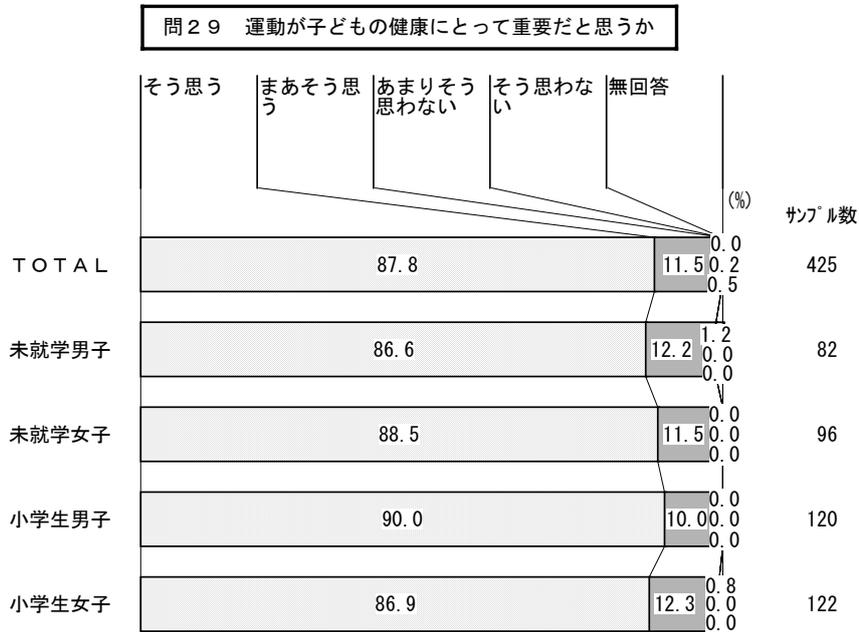
未就学児に比べ、小学生の方が、「いつも参考をしている」「時々参考をしている」がやや多い。



5 身体活動・運動について

(1) 子どもの健康にとって運動が重要だと思うか (問 29)

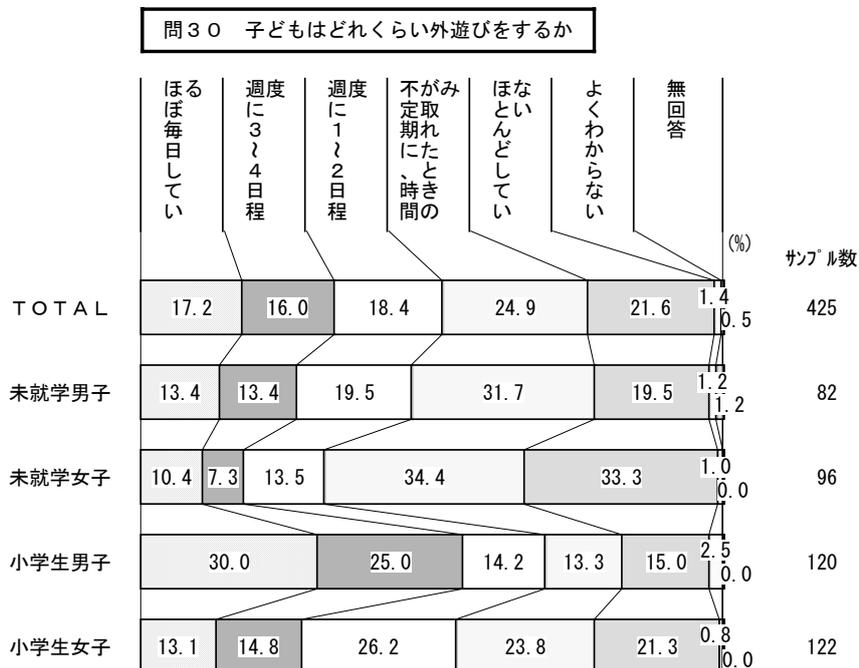
「そう思う」が87.8%、「まあそう思う」が11.5%である。
年齢・性別による差はみられない。



(2) 子どもの外遊びの頻度 (問 30)

「不定期に、時間の取れたときのみ」が24.9%で最も多い。次いで「ほとんどしていない」が21.6%、である。「ほぼ毎日している」が17.2%、「週に3～4日程度」が16.0%と、週の半数以上外遊びをしているのは約3割である。

年齢・性別により大きな差があり、未就学女子では「不定期に、時間がとれたときのみ」が34.4%、「ほとんどしていない」が33.3%で7割近くはあまり外遊びをしていない。小学生男子は「ほぼ毎日している」が30.0%、「週に3～4日程度」が25.0%で、外遊びの頻度が他に比べ高い。



(3) 外遊びをほとんどしない理由 (付問 30-1)

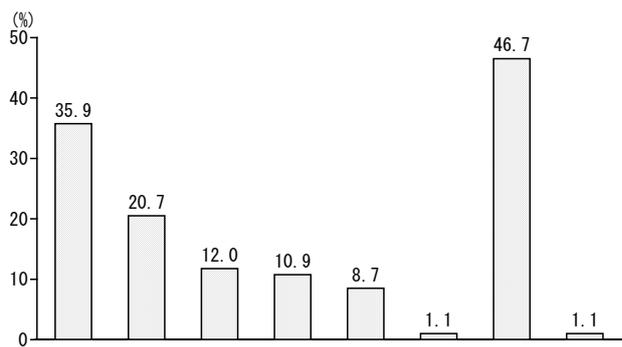
「塾や習い事があるから」が 35.9%、「一緒に遊ぶ友達がいないから」が 20.7%、「外遊びや運動が嫌いだから」が 12.0%、「外遊びをするのに安心できないから」が 10.9% である。

「その他」が 46.7%で最も多い。具体的な理由としては、未就学児では「保育所のお迎えに行ってから帰宅すると時間が遅い」というものが最も多く、「幼稚園の送迎バスの時間が遅い」「親が忙しく一緒に外で遊ぶ時間がない」などが主な理由である。

小学生でも「下校時刻が遅いので」といったものが主であった。

付問30-1 外遊びをほとんどしていない理由 (複数回答)

□ TOTAL n=92



子どもの通園、通学先・性別		n	1	4	5	3	2	6	7	8
			塾や習い事があるから	一緒に遊ぶ友達がいないから	外遊びや運動が嫌いだから	外遊びをするのに安心できないから	近くに遊ぶ場所がないから	健康上の理由から	その他	無回答
0	TOTAL	92	35.9	20.7	12.0	10.9	8.7	1.1	46.7	1.1
1	未就学男子	16	6.3	18.8	0.0	12.5	6.3	0.0	75.0	0.0
2	未就学女子	32	12.5	12.5	0.0	15.6	9.4	0.0	71.9	3.1
3	小学生男子	18	55.6	27.8	22.2	5.6	11.1	5.6	33.3	0.0
4	小学生女子	26	69.2	26.9	26.9	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0

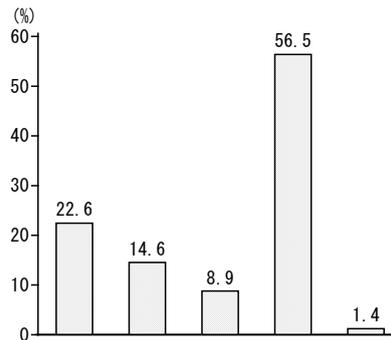
(4) 子どもの地域のスポーツ少年団や民間スポーツクラブ等での運動状況 (問 31)

「特にしていない」が 56.5%である。地域のスポーツ少年団や民間のスポーツクラブ等で運動している人の内訳は、「民間のスポーツクラブで運動している」が 22.6%、「地域のスポーツ少年団等のクラブで運動している」が 14.6%、「その他のクラブで運動している」が 8.9%である。

小学生では、何らかのクラブに属している割合が高くなっており、特に小学生男子では、「民間のスポーツクラブで運動している」が 32.5%、「地域のスポーツ少年団等のクラブで運動している」が 35.0%である。

問 31 子どもは地域のスポーツ少年団や民間のスポーツクラブ等で運動、スポーツをしているか (複数回答)

□ TOTAL n=425



子どもの通園、通学先・性別	n	2	1	3	4	5
		民間のスポーツクラブで運動	地域のスポーツ少年団等のクラブで運動	その他のクラブで運動している	特にしていない	無回答
0 TOTAL	425	22.6	14.6	8.9	56.5	1.4
1 未就学男子	82	19.5	1.2	9.8	68.3	2.4
2 未就学女子	96	14.6	3.1	6.3	77.1	0.0
3 小学生男子	120	32.5	35.0	7.5	34.2	1.7
4 小学生女子	122	20.5	12.3	11.5	56.6	0.8

(5) テレビゲーム、テレビ、インターネットの利用時間 (問 32)

「1時間以上2時間以内」が31.8%で最も多く、次いで「2時間以上3時間以内」が26.6%である。「3時間以上」が8.0%である。「やらせていない」は3.3%である。未就学女子では「やらせていない」が8.3%とやや多い。

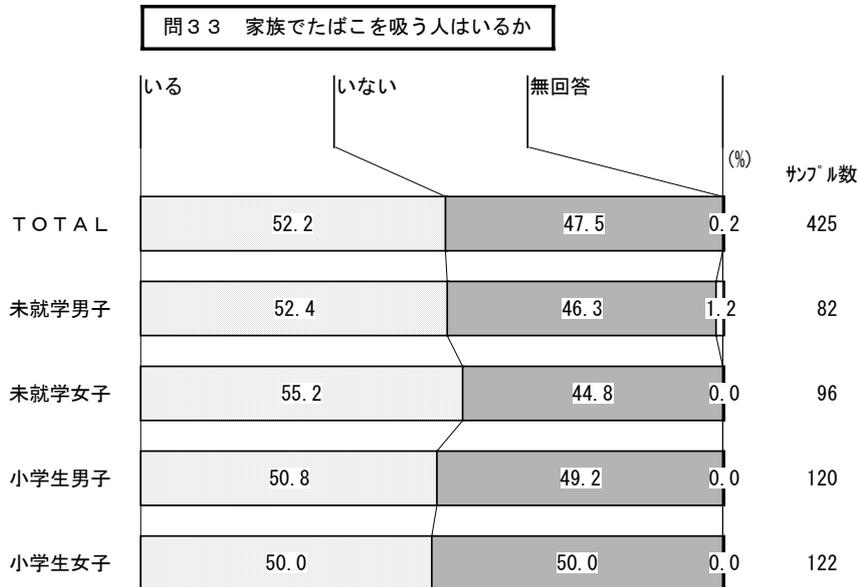
問32 1日の中で、テレビゲームをしたり、テレビをみたり、インターネットで遊んでいる時間													
		30分以内	30分以上1時間以内	1時間以上2時間以内	2時間以上3時間以内	3時間以上	やらせていない	よくわからない	無回答				
		(%)									サンプル数		
TOTAL		8.9	20.2	31.8	26.6	8.0	3.3	0.5	0.7			425	
未就学男子		4.9	18.3	41.5	25.6	6.1	2.4	1.2	0.0			82	
未就学女子		7.3	18.8	32.3	22.9	9.4	8.3	1.0	0.0			96	
小学生男子		8.3	23.3	30.8	29.2	4.2	3.3	0.8	0.0			120	
小学生女子		13.1	18.9	27.0	27.9	12.3	0.0	0.8	0.0			122	

6 喫煙について

(1) 家族の喫煙状況（問33）

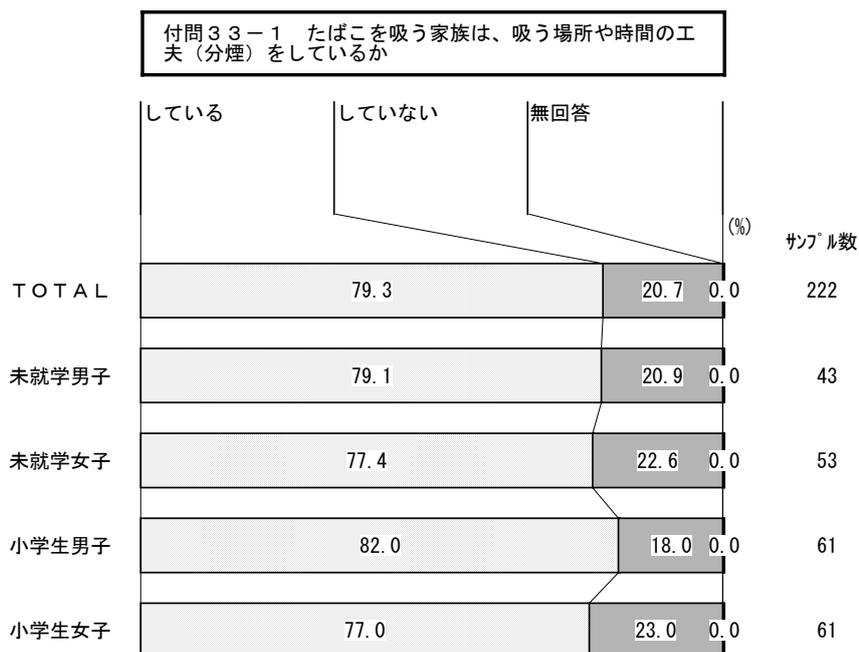
家族でたばこを吸う人が「いる」は52.2%、「いない」は47.5%で喫煙者がいる家庭がやや多い。

年齢・性別で大きな差はみられない。



(2) 喫煙する家族は、吸う場所や時間の工夫（分煙）をしているか（付問33-1）

問33で家族でたばこを吸う人が「いる」と回答した人に、吸う場所や時間の工夫（分煙）をしているかたずねたところ、「している」が79.3%、「していない」が20.7%である。

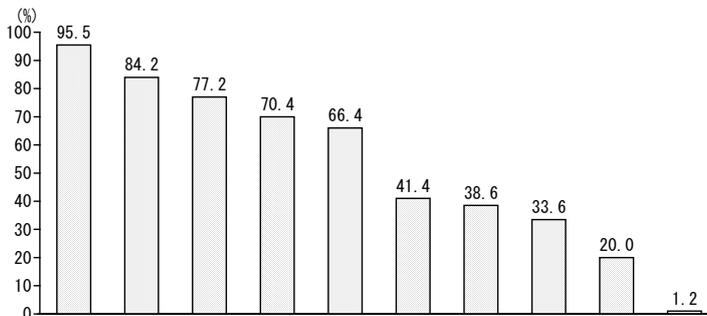


(3) 喫煙により影響が出ると思うもの (問34)

最も多いのは「肺がん」で95.5%である。次いで「妊娠(胎児)への悪影響」(84.2%)、「乳幼児・青少年の発達への悪影響」(77.2%)、「ぜんそく」(70.4%)、「気管支炎」(66.4%)である。

問34 たばこを吸うことで影響が出ると思うもの (複数回答)

□ TOTAL n=425



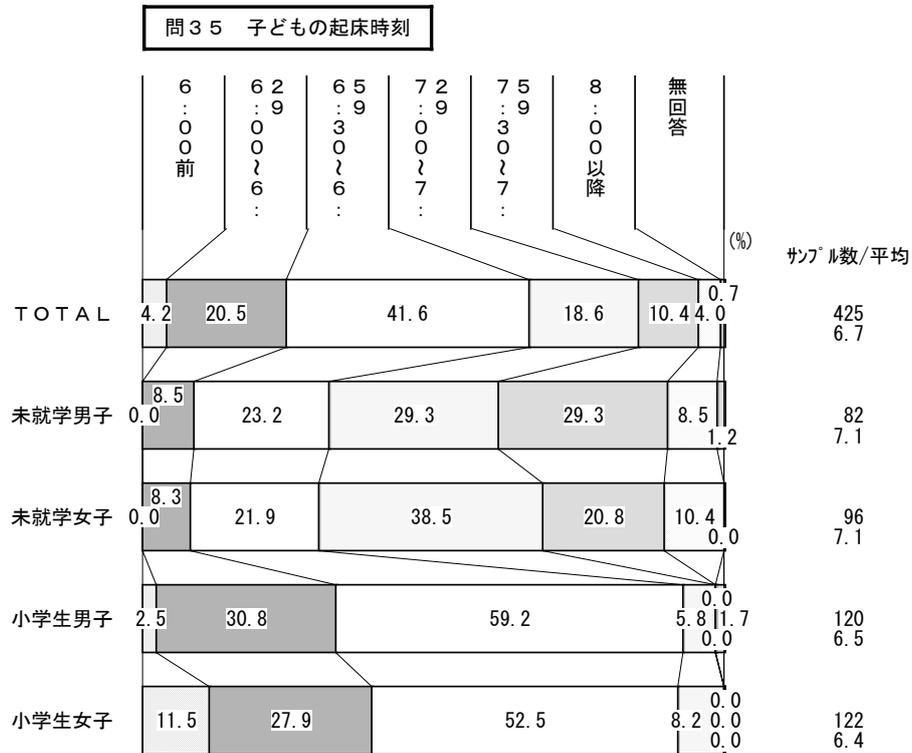
子どもの通園、通学先・性別	n	1	7	8	2	3	4	5	9	6	10
		肺がん	妊娠(胎児)への悪影響	乳幼児・青少年の発達への悪影響	ぜんそく	気管支炎	心臓病	脳卒中	歯周病	胃かいよう	無回答
0 TOTAL	425	95.5	84.2	77.2	70.4	66.4	41.4	38.6	33.6	20.0	1.2
1 未就学男子	82	92.7	91.5	78.0	75.6	65.9	36.6	35.4	39.0	20.7	3.7
2 未就学女子	96	96.9	86.5	80.2	78.1	76.0	44.8	44.8	37.5	22.9	0.0
3 小学生男子	120	97.5	82.5	79.2	65.0	65.0	45.8	43.3	34.2	19.2	0.8
4 小学生女子	122	94.3	78.7	72.1	64.8	59.8	39.3	30.3	26.2	18.0	0.8

7 休養・心の健康について

(1) 子どもの起床時刻（問35）

起床時刻は、「6:30～6:59」が41.6%で最も多く、次いで「6:00～6:29」が20.5%、「7:00～7:29」が18.6%であるが、年齢で起床時刻が大きく異なる。

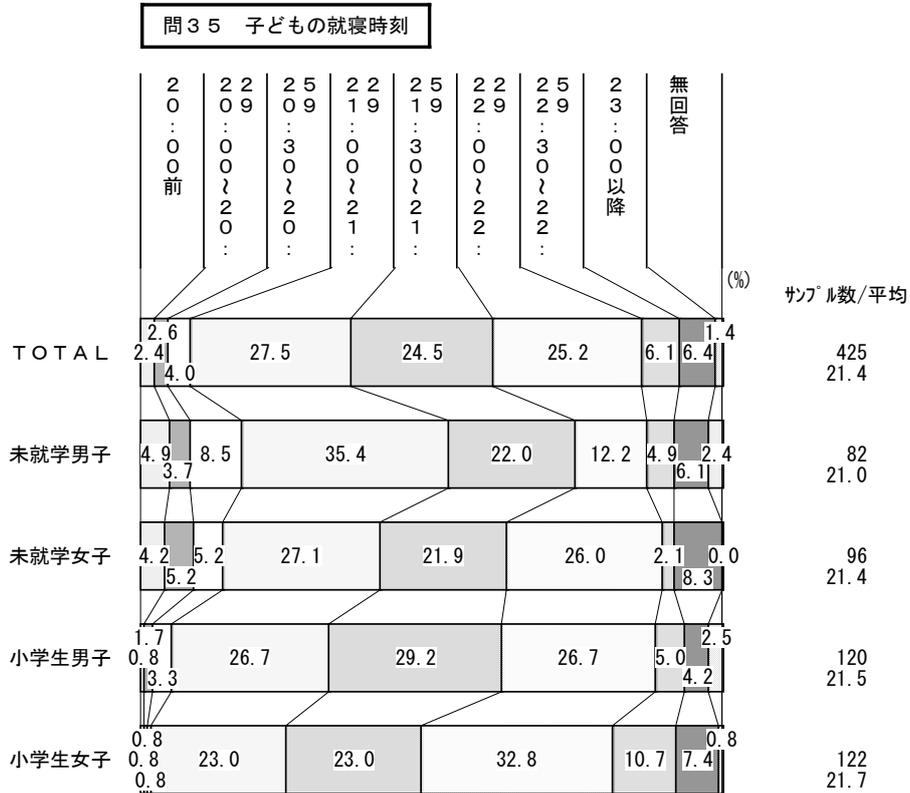
未就学児では、男女とも「7:00～7:29」が最も多いのに対し、小学生では、「6:30～6:59」が最も多い。小学生の方が起床時刻が早い人が多い傾向にある。



(2) 子どもの就寝時刻 (問 35)

就寝時刻は、「21:00～21:29」が最も多く 27.5%、次いで「22:00～22:29」が 25.2%、「21:30～21:59」が 24.5%である。約 8 割が 21:00 から 22:29 の間に就寝している。就寝時刻が 23:00 以降は 6.4%である。

年齢が上がると 22:00 以降に就寝をする割合が高く、未就学男子では 23.2%、未就学女子では 36.4%であるのに対し、小学生男子では 35.9%、小学生女子では 50.9%である。また、男子より女子で就寝時刻が遅い傾向がみられる。



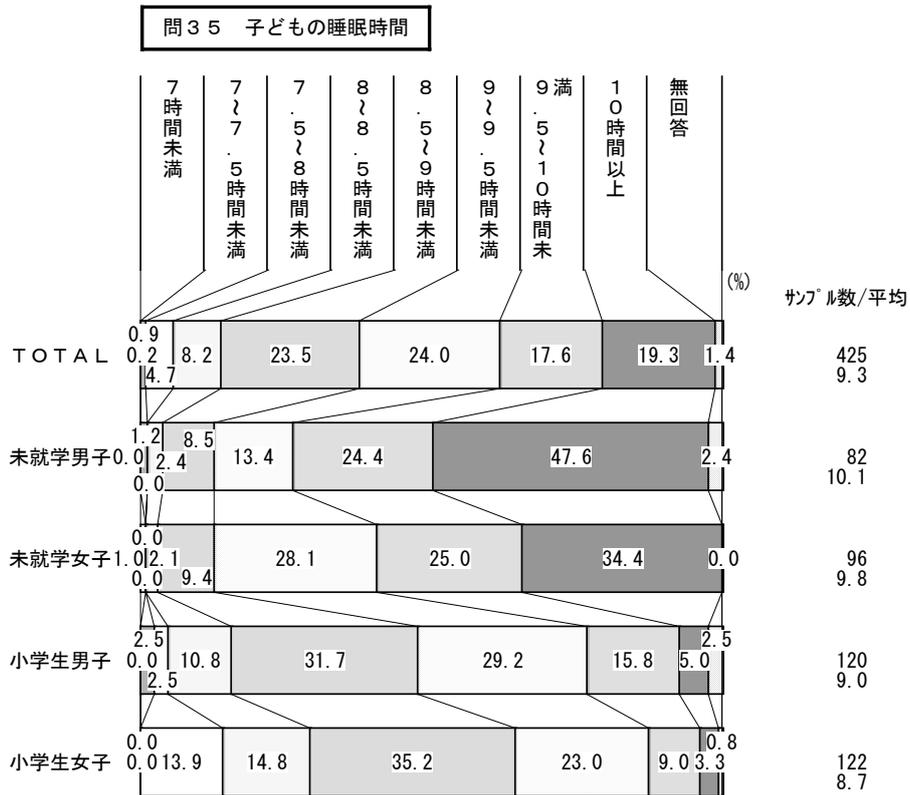
(3) 子どもの睡眠時間 (問 35)

問 35 でたずねた起床時刻と就寝時刻をもとに、睡眠時間を算出した。

最も多いのが「9～9.5時間未満」で24.0%である。次いで「8.5～9時間未満」が23.5%、「10時間以上」が19.3%、「9.5～10時間未満」が17.6%である。また、睡眠時間が8時間未満を合わせると、5.8%である。

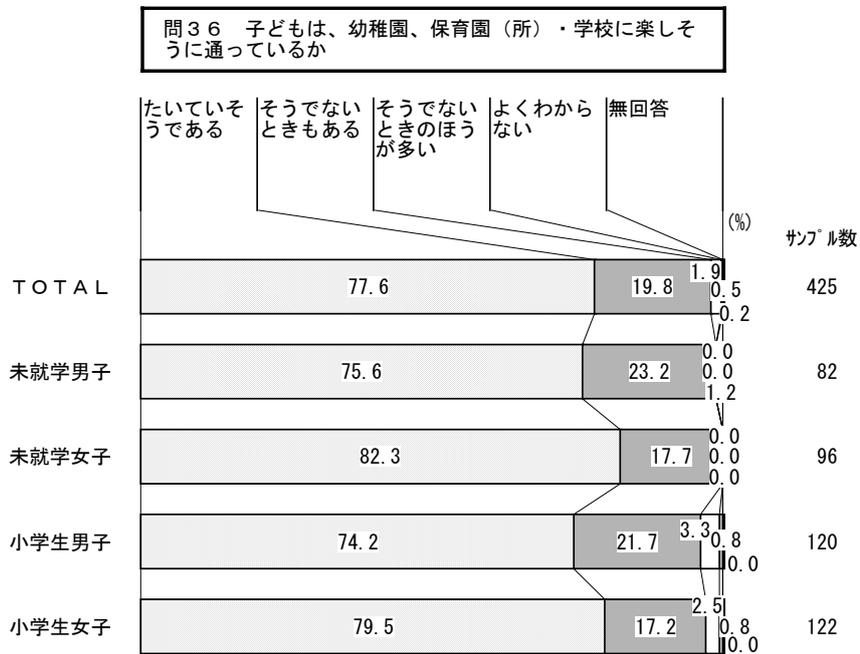
未就学児では男女とも「10時間以上」が最も多く、未就学男子で47.6%、未就学女子で34.4%である。睡眠時間が8時間以下は1%程度である。

小学生では男女とも「8.5～9時間未満」が最も多い。未就学児に比べ、睡眠時間は短い。睡眠が8時間未満は、小学生女子では13.9%と他に比べ多い。



(4) 子どもは、幼稚園、保育園(所)・学校に楽しそうに通っているか(問36)

「たいていそうである」が77.6%で最も多く、「そうでないときもある」が19.8%、「そうでないときのほうが多い」が1.9%、「よくわからない」が0.5%である。
 年齢性別で大きな差はみられないが、未就学児も小学生も女子のほうが「たいていそうである」がやや多い。

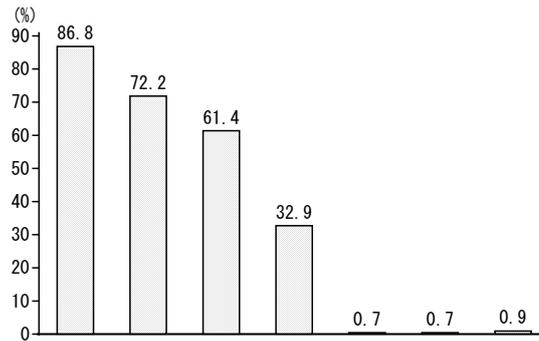


(5) 家族と子どものコミュニケーションの状況 (問37)

「母親とよく話したり遊んだりしている」が 86.8%で最も多い。次いで「兄弟姉妹とよく話したり遊んだりしている」が 72.2%、「父親とよく話したり遊んだりしている」が 61.4%である。「あまり家族とは話したり遊んだりしない」は 0.7%にとどまっている。

問37 家族と子どものコミュニケーションについてあてはまるもの(複数回答)

□ TOTAL n=425



子どもの通園、通学先・性別	n	回答内容						
		2	3	1	4	5	6	7
0 TOTAL	425	86.8	72.2	61.4	32.9	0.7	0.7	0.9
1 未就学男子	82	91.5	67.1	67.1	35.4	0.0	0.0	1.2
2 未就学女子	96	92.7	70.8	68.8	43.8	0.0	0.0	1.0
3 小学生男子	120	82.5	78.3	61.7	24.2	0.0	0.8	0.0
4 小学生女子	122	84.4	71.3	52.5	32.0	1.6	1.6	0.8

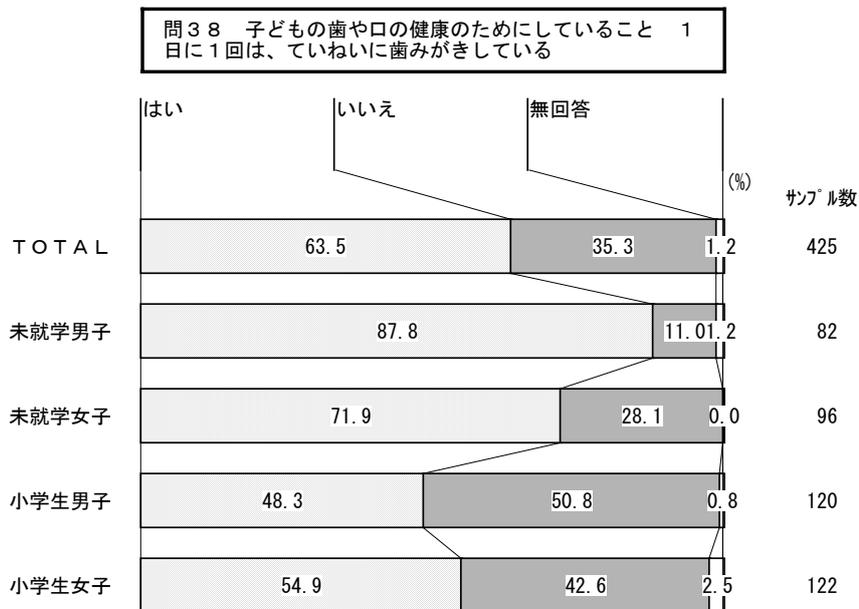
8 歯の健康について

(1) 子どもの歯や口の健康のためにしていること

① 日に1回は、ていねいに歯みがきしている (問 38)

「はい」が63.5%、「いいえ」が35.3%である。

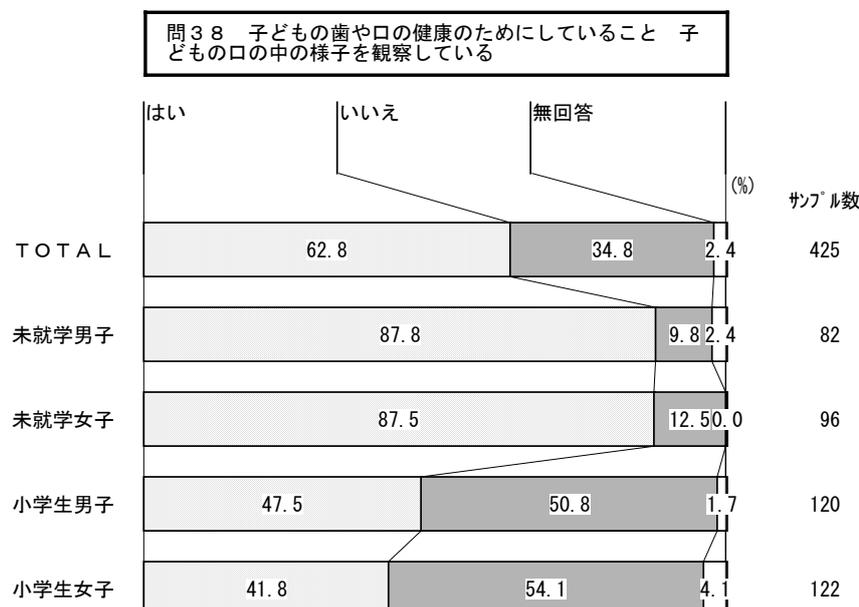
未就学児と小学生で大きな差があり、未就学男子では「はい」が87.8%、未就学女子では「はい」が71.9%であるのに対し、小学生男子では「はい」が48.3%、小学生女子では「はい」が54.9%である。



② 子どもの口の中の様子を観察している (問 38)

「はい」が62.8%、「いいえ」が34.8%である。

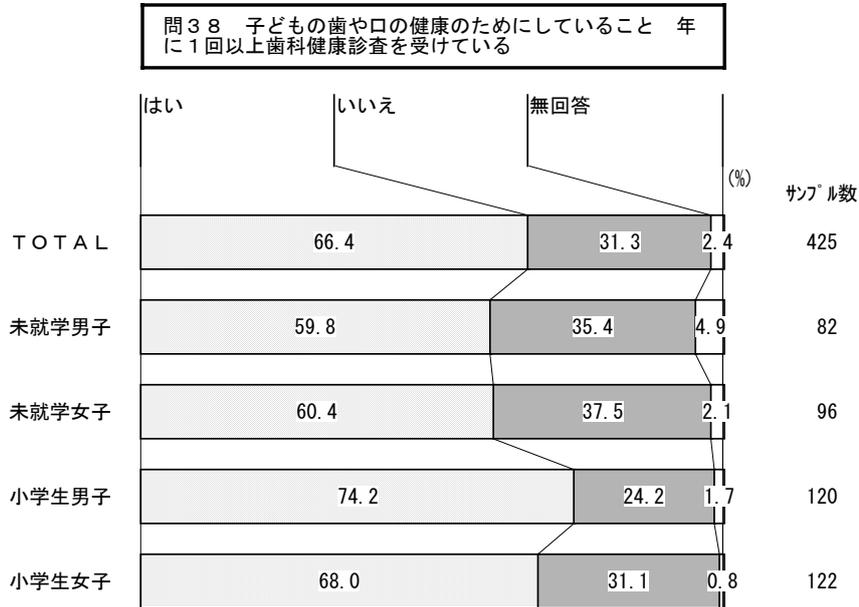
未就学児と小学生で大きな差があり、未就学男子では「はい」が87.8%、未就学女子では「はい」が87.5%であるのに対し、小学生男子では「はい」が47.5%、小学生女子では「はい」が41.8%である。



③年に1回以上歯科健康診査を受けている（問38）

「はい」が66.4%、「いいえ」が31.3%である。

未就学児より、小学生の方が「はい」が多く、未就学男子が59.8%、未就学女子が60.4%であるのに対し、小学生男子では74.2%、小学生女子では68.0%である。

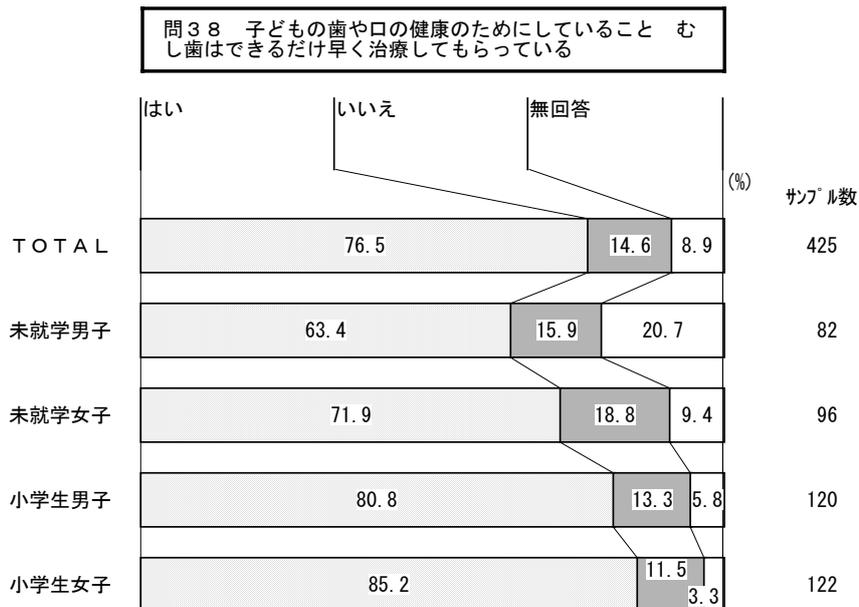


④むし歯はできるだけ早く治療してもらっている（問38）

「はい」が76.5%、「いいえ」が14.6%である。

未就学児より小学生の方が「はい」が多く、未就学男子で63.4%、未就学女子で71.9%であるのに対し、小学生男子では80.8%、小学生女子では85.2%である。

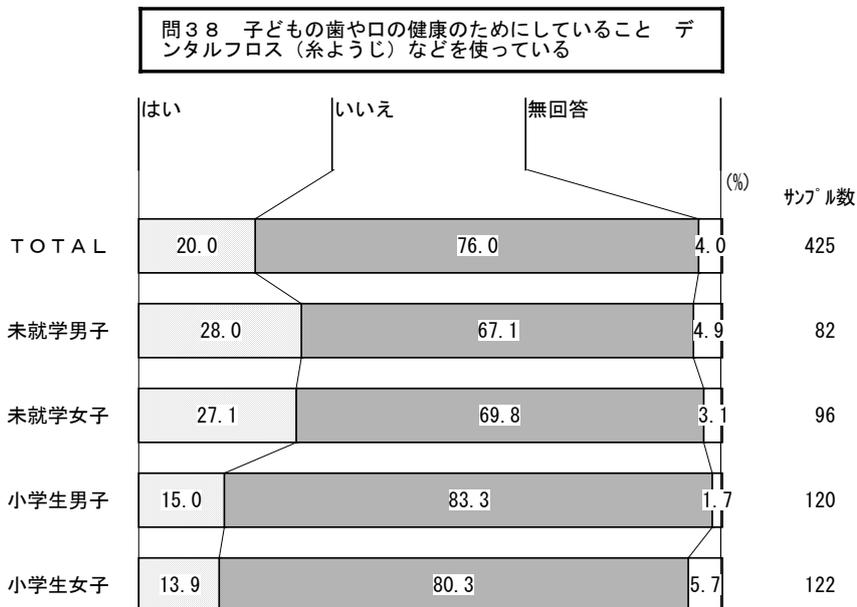
無回答については、欄外に「むし歯がないため」と記載しているケースもあり、未就学児では、まだむし歯がないケースもあり、結果の解釈には考慮が必要である。



⑤デンタルフロス（糸ようじ）などを使っている（問 38）

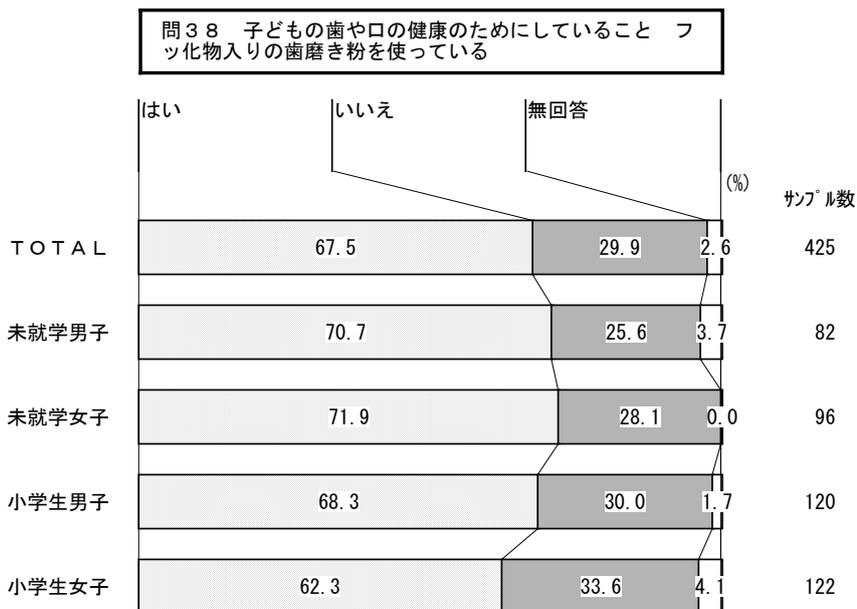
「はい」が20.0%、「いいえ」が76.0%である。
 小学生に比べ未就学児では「はい」が多く、未就学男子で28.0%、未就学女子で27.1%である。

②子どもの口の中の様子を観察している（問 38）で、未就学児において保護者が子どもの口の中を観察している割合が高いことから、保護者がデンタルフロス（糸ようじ）などを使用していることがうかがえる。



⑥フッ化物入りの歯磨き粉を使っている（問 38）

「はい」が67.5%、「いいえ」が29.9%である。



(2) 子どもはかかりつけの歯科医院を決めているか (問 39)

「決めている」が74.6%、「決めていない」が24.9%である。
 未就学児に比べて小学生では「決めている」が多く、小学生男子で79.2%、小学生女子で84.4%となっている。

